

福知山市企業交流プラザの災害時の付加機能に係る 長田野・三和立地企業による追加調査結果

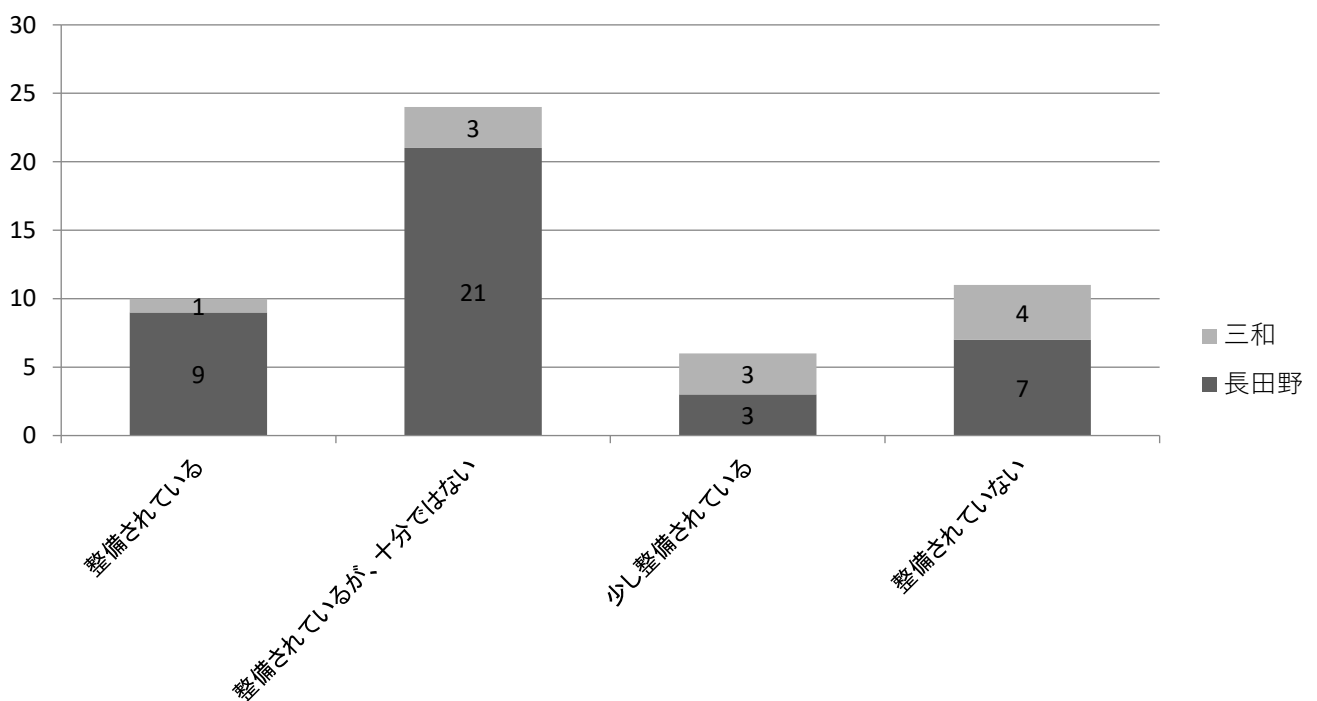
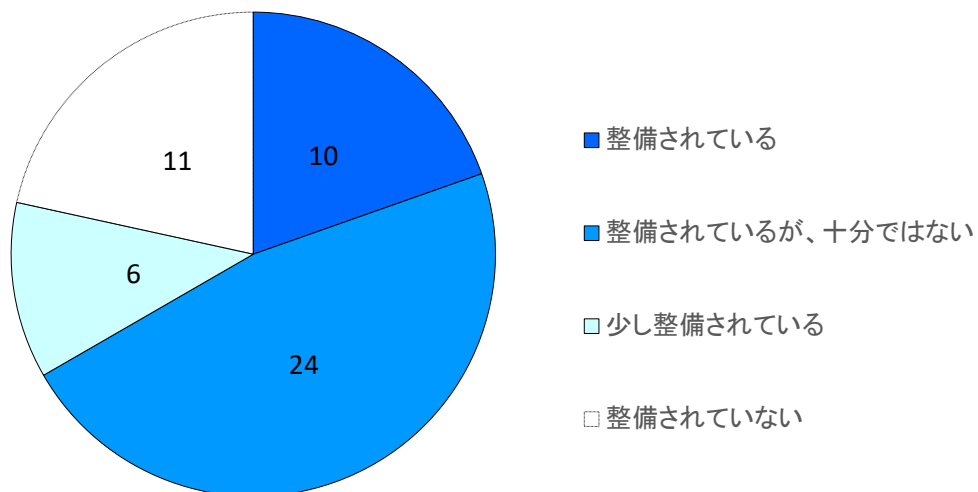
(長田野工業団地
関係委員実施・編集)

◆回答企業：51社（長田野：40社 京都三和：11社）

回答率：94%（長田野：98% 京都三和：85%）

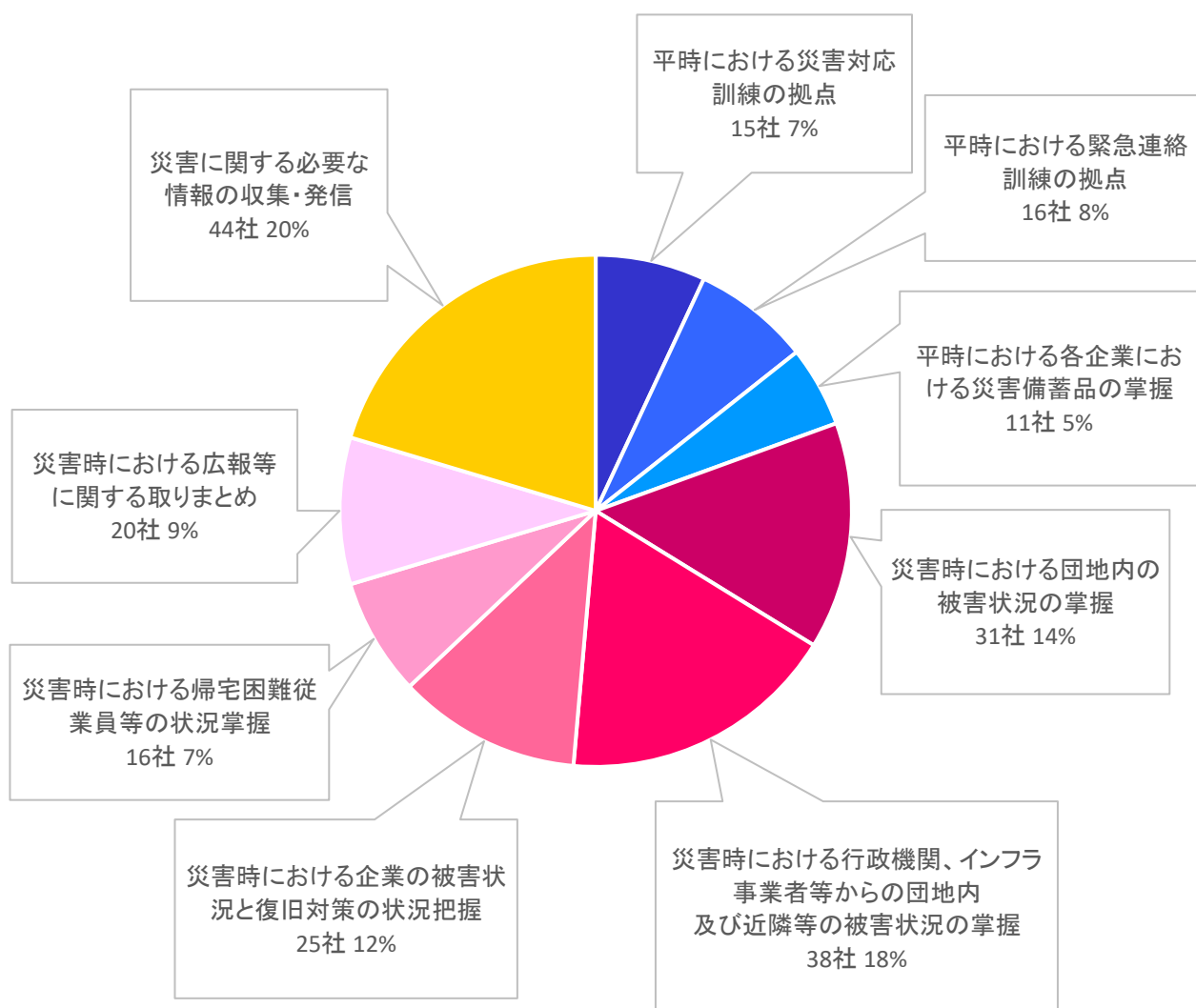
◆貴社の災害時の社内体制は整備されていますか。

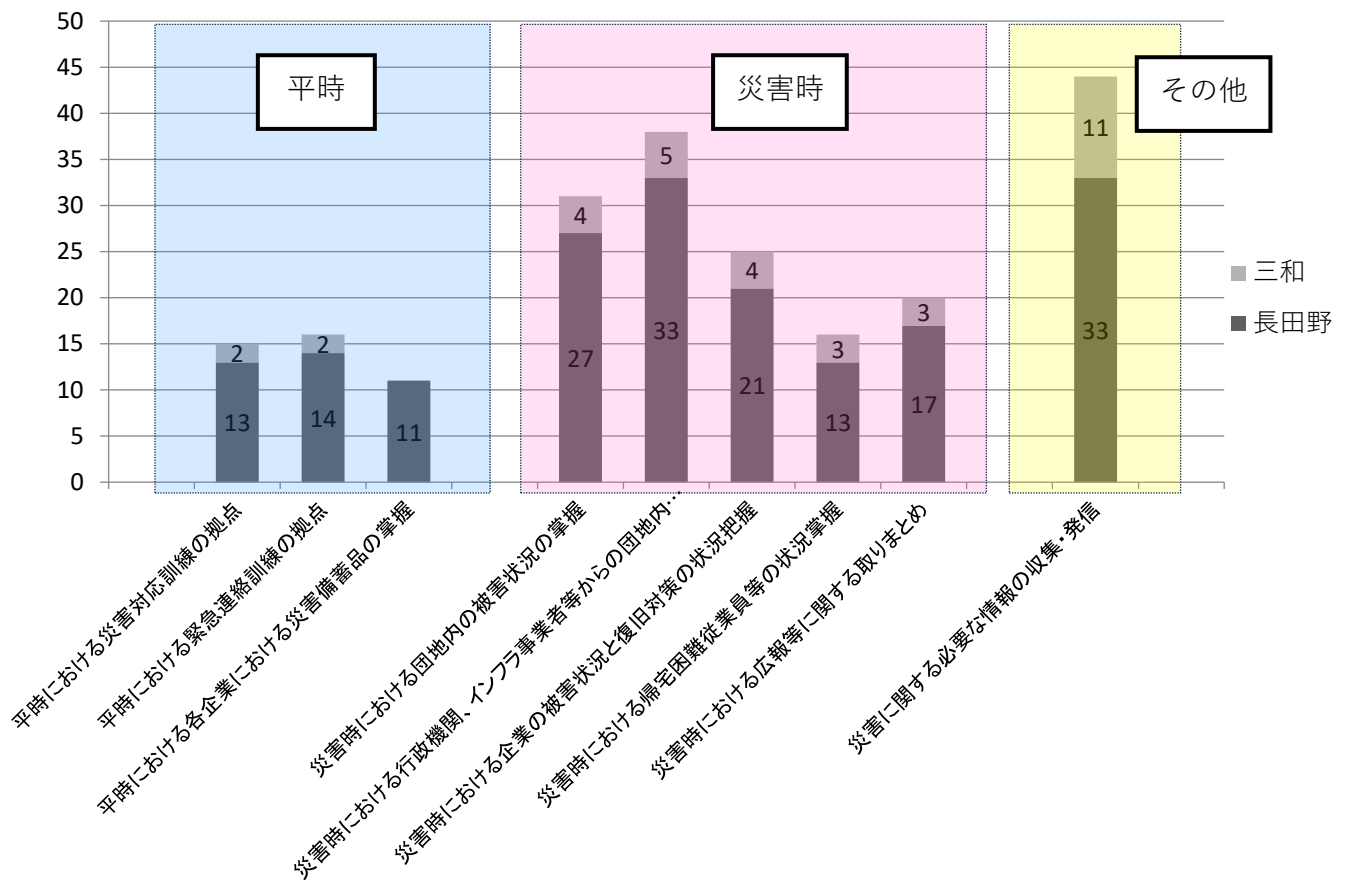
■整備されている	10社（長田野9：三和1）
■整備されているが、十分ではない	24社（長田野21：三和3）
■少し整備されている	6社（長田野3：三和3）
■整備されていない	11社（長田野7：三和4）



◆災害に関して（福知山市企業交流プラザにおける）工業団地内災害対策本部等の機能には何を求められますか。（複数選択可）

■平時における災害対応訓練の拠点	15社（長田野13：三和2）
■平時における緊急連絡訓練の拠点	16社（長田野14：三和2）
■平時における各企業における災害備蓄品の掌握	11社（長田野11）
■災害時における団地内の被害状況の掌握	31社（長田野27：三和4）
■災害時における行政機関、インフラ事業者等からの団地内及び近隣等の被害状況の掌握	38社（長田野33：三和5）
■災害時における企業の被害状況と復旧対策の状況把握	25社（長田野21：三和4）
■災害時における帰宅困難従業員等の状況掌握	16社（長田野13：三和3）
■災害時における広報等に関する取りまとめ	20社（長田野17：三和3）
■災害に関する必要な情報（周辺地域の天気、道路、河川、電気、ガス等）の収集・発信	44社（長田野33：三和11）





■自由意見

- ・ 大まかな情報についてはスマホ等から収集できるが、例えば近隣の道路情報で通行止めになっている等の交通情報をいち早く分かれば助かる。
- ・ 府北部から通勤される方もいるので、情報が必要。（天気・道路・河川・通行止め等）
- ・ 個々の企業の被害状況より、物流インフラ、生活情報などの広範囲な状況把握と迅速な発信に期待。
- ・ 発信については、グループLINEの様なリアルタイムで伝達できるものが良いのでは。
- ・ 大企業はBCPを作成しているかもしれないが、中小企業は自社だけで災害対策を行うのは困難である。長田野工業センター単位で取り組みをしていただけると大変助かる。

◆災害に関して（福知山市企業交流プラザにおける）避難所機能（備蓄倉庫、防災器具等を含む）には何を求められますか。（複数選択可）

■福知山市が市内の災害に備えた総合備蓄倉庫 15社（長田野13：三和2）

■福知山市と企業が共同で備蓄する地域住民（企業を含む）のための備蓄倉庫 16社（長田野12：三和4）

■企業が共同で備蓄する備蓄倉庫 14社（長田野14）

・共同備蓄は運用課題が多いが、帰宅困難者に特化した運用が良いのでは。

■災害時の住民のための一時避難所 28社（長田野20：三和8）

■災害時の企業従業員の帰宅困難者のための一時避難所 33社（長田野27：三和6）

・地域住民への災害対応（避難所、備蓄など）は行政機関、公民館などが行うもので、企業交流プラザは、企業、従業員の災害対応であってほしい。

■災害時（雨天を除く）のヘリポート拠点 10社（長田野7：三和3）

■その他意見

- ・企業間連携の橋渡し（サプライヤーが機能不全となった場合の企業間での情報共有など）
- ・同じ長田野工業団地に企業交流プラザがある限り、工業団地内の企業と同じく災害時被災するので企業約40社の避難機能は難しいと思われる。また、企業内の避難所となるには相当な敷地スペースが必要となる。企業交流プラザには、関係各所の情報の集約と発信をしていただくことがありがたい。

